

知的障害者（児）支援者研修会

社会福祉法人 大和郡山育成福祉会
〒639-1058 大和郡山市矢田町字大谷 382-2

助成事業の概要

・目的：障害のある方の地域での暮らしを充実したものにしていくために、支援する側の資質向上を図る

・期間：平成 24 年度 1 年間（平成 24 年 5 月～平成 25 年 3 月）

・内容：

社会福祉法人 ひまわり会

渡辺氏 豊田氏による 社会福祉コンサルティングの実施

講演会（1 回） 研修会 4 回

（株）STC 槌間氏

コミュニケーション技術の向上

講義（2 時間 × 2 回）

事業の成果

1 年を通して支援者としての資質向上を目指すため、職員の中で有志ではあるが研修委員を組織。3 名の現場職員が率先して資質向上に向けての取り組みを推進してくれた。

自ら向上しようとする姿勢をこの助成金を活用させていただき職員を応援できたことが大きな成果の一つ。支援については研修委員が中心にアドバイザーの渡辺氏・豊田氏と連携し 4 回の研修委員会中心の研修会を実施。その振り返りをアドバイザーと毎回振り返り、次回に活かし取り組む。

日常の個々の悩みについてを議題にしたり、支援のよかったことを書き留め、集約していく日々の取り組みをおこなったり、1 年かけて焦らず出来ることから一つずつ取り組むことで、全体で共通した認識の中で日々の支援を行うようにでき、一つの方向に向かって動き出せてきたことが成果である。

又、全体講義では渡辺氏のこれまで実践してきた障害のある方に寄り添い支援してきた実践を聴くことで勇気も頂いた。

又、チームワークを向上させるためコミュニケーション力を高める研修を行おうとなり、全体で 2 度の研修会を全体で実施。当たり前だけど日々しっかり行えているかと振り返ってみると出来ていない、その状況で意思疎通がうまくいくわけがない。改めて当たり前のことを日々することの大切さを知ることができた。

～スタッフの感想～

障害のある方の支援を行う中で、本来、ご本人の良い点・強みに対して寄り添っていくことが大切なことなのに、マイナス面をこうしてほしいとか、こう改善しましょうといった訓練的な支援が多かったことに気づかされました。

今回の取り組みの中で、みんなで行った「お褒めの木」（1 月の中でなんでもいよいいので良かったと感じたことや楽しかったことを記入していき一つの模造紙に張り続ける取り組み）では、自分自身の視点が改善より本人の喜びにつながる本来あるべき支援に結びつけることができたことが支援者として改めて支援の楽しさを知る機会

になりました。

■ 成果の広報、公表

法人冊子 平成 24 年度事業報告 「あゆみ」に
掲載 平成 25 年 5 月発行予定

■ 今後の展開

職員内研修を継続して、支援の向上とポジティブ
な姿勢を維持。